

トヨコ通信

6月議会はじまる

2012年6月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>

発行：日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日：2012年 6月 1日 第121号
連絡先：大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

議会運営委員会に新風 統一会派による議会改革ついに始動

2012年5月28日に議会運営委員会が開催され、6月議会の内容が明らかになりました。議案は補正予算が1件、条例制定が1件、請負契約が6件など合計12件です。また、決議が1件、意見書が2件提出されています。

<補正予算>

- ・まちなか歴史回廊整備事業費 40,000千円
美濃路大垣宿本陣跡修理、美濃路街道整備

<条例改正>

- ・大垣市駅前広場等管理条例の制定について
大垣駅北口広場の利用規定

<請負契約>

- ・興文小学校 北舎耐震改修ほか工事 3億9795万円
- ・江東小学校 南舎西耐震改修工事 1億8270万円
- ・青墓小学校 北舎中西耐震改修工事 1億8879万円

- ・東中学校 中舎耐震改修工事 3億1500万円
- ・西中学校 北舎耐震改修工事 3億1353万円
- ・江並中学校 北舎西耐震改修工事 1億9845万円

震災ガレキ受け入れを求める決議(案)

東日本大震災によって発生したガレキについて「被災地の復旧・復興の大きな障害になっている」が「全国の自治体で受け入れが進んでいない」と、「安全基準の提示や最終処分場の確保など国に対して積極的に働きかけ、ガレキを速やかに受け入れるよう求める」という内容です。ところが、岩手視察の同行ルポの記事(6/1中日)では、「木くずの一部は燃料として販売され、より放射線濃度が高い混合可燃物も処理の見通しが立ちつつある」と、広域処理は不要という見方もあります。また、宮城の被災地から持ち帰ったサンプルから放射能汚染の数値が安全基準の上限で検出されており、放射能汚染ガレキの広域処理に不安を持っている市民からは、「受け入れないで欲しい」という要望が出されています。

再生可能エネルギー促進・原発慎重の意見書(案)

自民クラブ、市議会公明党から「再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書(案)」と「原子力発電所の再稼働に対して慎重な対応を求める意見書(案)」が提出されました。前者では再生可能エネルギー導入のための、1)減税措置、2)買取制度の明確化、3)規制改革を、後者では原子力発電所の安全基準について国民の理解が得られるまでは、関西電力大飯発電所の再稼働に慎重な対応をすることを求めています。

議会改革統一会派を結成しました

大幅に遅れている大垣市の議会改革を進めるために、5月9日、市民ネットワークと日本共産党、市政自民党、市民クラブで6名の「議会改革」を一致点とした統一会派を結成しました。会派からは議会運営委員として、岡田まさあき、笹田トヨコの2名を送り出します。これに伴って、議会運営委員会の委員定数が7から8に増加しました。

議会改革度ランキング

大垣市は780位(ワースト30位)

日経グローバルは全国810市区議会を対象に、情報公開や住民参加など議会改革度調査を行い、ランキングを出しました。大垣市は810市区の中で780位、岐阜県の市議会では最下位から2番目に位置するという、議会改革が大変遅れた市議会であることが明らかになりました。

議会改革についての要望書を提出

議会改革の統一会派6議員は議長宛てに「議会改革についての要望書」を提出しました。内容は、

- 1) 開かれた議会にするためにTV・インターネットによる公開と議会だよりの改善
- 2) 議員の政策能力向上のため、政務調査費の復活
- 3) 「議会基本条例」の研究会設置
- 4) 議会改革特別委員会の設置

各会派で検討することになりましたが、今後この要望書をもとに、議会運営委員会で議会改革についての議論を始めたいものです。

6月議会の日程

6月4日(月)	10:00	本会議・提案説明
6月11日(月)	10:00	本会議・一般質問
6月13日(水)	10:00	建設環境委員会
	13:00	経済産業委員会
6月14日(木)	10:00	文教厚生委員会
	13:00	企画総務委員会
6月15日(金)	10:00	本会議

消費税に頼らない別の道があります

日本共産党の『提言』

景気が良くなれば税収は増えます

消費税の増税が政治課題として活発に議論されている中、日本共産党は『提言』を発表し、消費税に頼らない別の道を提起しました。

『提言』では、「消費税を増税しなくても、景気の回復によって税収を回復することは可能」という見通しを立てています。景気回復には3段階の政策が必要です。

- 1) 余裕のある富裕層への増税（この間減税された分を元に戻す）で当初の社会保障財源を確保。
- 2) 社会保障の充実と、企業の内部留保の規制で、経済活動を活発化。景気拡大へつなげる。
- 3) 景気拡大で税収が増える。平均2.4%の経済成長で2030年に財政を黒字化する。

逆に消費税増税で景気が悪くなればますます税収は落ち込んでしまいます。消費税が3%だった1996年には90

「トヨ子さん大いに語る & ジャズピアノ演奏のひとつとき」

5月29日の午後1時半から、神戸町の喫茶店で「日本共産党を応援する文化後援会：BUNBUN倶楽部」主催で音楽企画が開催されました。

第1部は最近人気沸騰中の、猪原さんによるジャズピアノの演奏。今回はさらに、ヴォーカリストの亀井さんとのコラボで、会場を大いに沸かせました。

第2部はコーヒーをいただきながら、議会改革のため統一会派を結成したことやグローバル経済に振り回されず自立した国づくりを行っているキューバの話、また民主党の社会保障と税の一体改革に対抗して、共産党が出した「消費税ストップ!、社会保障の充実と財政再建の提言」を紹介しました。

兆円あった税収が、消費税5%の2010年では76億円にまで減っています。大切なのは国民の所得が増えれば税収は自然に増えるしだれも困らない、ということです。

政治家や解説者はこういうけども

しかしメディアでは消費税増税を推進する政治家や解説者のコメントが多く紹介されています。それは、

- 1) 日本の法人税は高すぎる
- 2) 日本の消費税は安すぎる
- 3) 社会保障を支えるには消費税しかない

というものです。

確かに日本の法人税は高いですが、社会保障費（厚生年金や健康保険など）の企業負担は安く、トータルの負担ではかなり安い方です。消費税が安いのも事実ですが、健康保険や介護保険などの税金以外の出費が他国より多いことは知らされていません。消費税を上げれば社会保障が充実するかと言えば、たとえばイギリスでは17%、アイルランドでは21%ですが、社会保障水準は低いです。

景気回復と安心社会実現を同時に

『提言』は景気回復によって税収を増やす、という単純なものです。景気回復の方法が従来の「公共事業」「大企業支援」とは違い、「社会保障」である点がポイントです。公共事業や大企業支援は一部のものが潤い、そこから社会全体に波及することを狙った景気回復策でしたが、実際にはあまり社会全体には還元されていません。そこで『提言』は直接社会全体にお金を回すことを考えました。それが社会保障の充実です。社会保障は全員が対象ですから直接、社会の隅々にまでお金が回ります。当然、生活も安心です。社会保障による経済政策をぜひ、一緒に実現しましょう。

笹田トヨ子のキューバ報告

5月の連休にキューバに行ってきました。キューバはアメリカのフロリダ半島から160kmに位置します。50年前のキューバ革命で社会主義国となり、様々な危機を乗り越え、今や社会保障や教育の先進国となりました。医療水準の高いことは知られていますが、その他にも学ぶことがありました。

アメリカの経済封鎖とソ連崩壊により食糧危機に陥りますが、その危機を契機にすべての国民に農業を奨励し、自家消費して残った農産物は売って自分の儲けにするなどで、今や食糧自給率は上がり、有機農業としては世界の先陣を切っています。

エネルギー問題では、旧ソ連から安い石油を輸入し原発計画も進んでいましたが、ソ連崩壊で中断。今は、省エネと再生可能エネルギー、そして分散型発電システムで、防災・エネルギー政策においても先進的な国づくりを行っています。



首都ハバナの旧市街はスペイン植民地時代の建物が残っており、世界遺産になっています。写真はカテドラル大聖堂の広場でダンスに興じている市民と観光客。

キューバ人は大変陽気で楽天的。どこでも音楽とサルサがありました。様々な危機を乗り越えてきた原動力はこの明るさかなと思いました。